

# 一般質問・質疑

3月1日、2日、3日の本会議では、11人の議員が質問に立ち、本のまち明石の取り組みやごみ施策、防災・減災対策などについて、市の見解を求めました。なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から6面に掲載しています。(代表質問の発言者と質問項目、その内容は2・3面に掲載)

## 発言者一覧

—発言順— ( ) は会派名

永井俊作 (未来市民)

- ①時間外勤務をなくす働き方改革 ②西明石活性化プロジェクト ③保育所の待機児童対策 ④子供達の学力保障

辻本達也 (日本共産党)

- ①斎場管理センターに係る諸問題

尾仲利治 (民主連合)

- ①本市の目指す文化政策 ②児童生徒が生き生きと学ぶことができる環境づくり ③こども食堂

佐々木 敏 (公明党)

- ①ごみ施策 ②総合的な福祉施策の推進 ③あらゆる人への配慮 ④高校生に対する消費者教育

家根谷 敦子 (スマイル会)

- ①条例施行後の障害者施策の動き ②手話通訳者の有効活用 ③再犯の防止等の推進に関する法律の施行

中西礼皇 (未来市民)

- ①議案第8号 あかしこども広場条例の一部を改正する条例 ②学校図書館 ③中学校部活動

久枝陽一 (民主連合)

- ①待機児童対策 ②オフロードバイク隊の設立

松井久美子 (公明党)

- ①議案第27号 平成29年度明石市一般会計予算本のまち明石推進事業 ②明石港東外港地区再開発計画 ③2017年1月からのセルフメディケーション税制

丸谷聡子 (未来市民)

- ①明石市こども総合支援条例の施行に向けて ②防災・減災対策 ③誰にでもわかりやすいサインの整備

国出拓志 (公明党)

- ①市長目安箱、(仮称)たこポストの設置 ②防災・減災対策

北川貴則 (未来市民)

- ①福祉の充実 ②2017年4月の組織改正 ③住むところと働くところづくり ④(仮称)野良猫抑制条例 ⑤成人式での市長の言動 ⑥公園の適正利用 ⑦中学校給食(給食センター)の安全安心対策

## ブックスタート好評

### 読書の楽しさを伝えるため本のまち明石ができること

**問** 本のまちを推進するための取り組みを聞く。

**答** 本市は、平成29年2月からこども健康センター(明石駅前再開発ビル6階)での4カ月健診時に、乳児とその保護者に絵本の読み聞かせ体験と絵本をプレゼントするブックスタート事業を開始した。この取り組みは、子どもと一緒に絵本を開くことの楽しさを伝えるものである。



絵本って楽しいな

保護者からは、本の選び方など参考になった、とてもうれしい試みであるとの意見があった。これからも本を通じて子どもの健やかな成長を支援していくため、1歳6カ月、3歳などの健診時にも年齢に合った絵本を渡すブックスタートの実施を検討していく考えだ。

また、読書推進として、学校では、29年度からモデル実施として、市採用による学校司書の配置を行う。地域で

## 災害時の情報収集に

### オフロードバイク隊導入の可能性は

**問** 震災等の大規模災害発生時における情報の収集と伝達のため、細い路地でも走行可能なオフロードバイク隊を設立してはどうか。

**答** 大規模災害時には、被災状況などの情報を迅速かつ正確に把握することが重要であり、本市の地域防災計画では、職員による情報収集、市民・自主防災組織等からの通報、ライフライン・警察・交通等防災関係機関と

の連絡など、複数の情報収集体制を定めている。オフロードバイク等の二輪車は、災害により道路状態が悪化した場合でも機動力に優れるなど、その有用性については認識しており、静岡市や横須賀市のオフロードバイク隊が東日本大震災の際に活動した実



静岡県三島市のオフロードバイク隊

**問** 本年4月施行の明石市こども総合支援条例について、その取り組みと相談支援体制の整備状況を聞く。

## 市全体で子どもを支援

### 1人で悩まず相談 こども専用ダイヤルも

**答** この条例は市全体の連携協力によって子どもを支援することを基本理念としており、広報紙やホームページを通じて条例の丁寧な周知を図っていく。学校等関係者には、校長会や園長会など、事業者には、あかし子育て応援企業や商工会議所などを通じて周知を行う。また、子ども向けのチラシを作成して配布する予定であり、条例の内容を的確に伝えるとともに、困ったときは

1人で悩まず、周りの協力を求めてほしいというメッセージを込める考えだ。

相談支援体制については、平成28年11月から、24時間電話相談ができるあかし子育て相談ダイヤルを開始した。今後は、児童相談所の設置にあたり、こども専用ダイヤルやメール、手紙による相談受付など、より子どもが利用しやすい方法について検討していく。

## 外部指導者の活用を調査研究

### ノー部活デーも推進

は、移動図書館車の更新や台数を増やすなどサービスの充実を図る。今後は、子どもから大人まで幅広い市民が本に親しめるイベントの開催などを検討し、読書の啓発活動にも力を入れていきたい。

**問** 中学校部活動の現状と外部指導者の活用について聞く。

**答** 全国的に部活動の指

導経験の浅い教員の増加や、校務が多忙で十分な指導ができない等の課題がある一方、過



部活動にメリハリを